20年ぶりの祭りに酔う

木山神宮で遷宮御幸祭

▲奴頭の田端さんを先頭に進む奴行列

約400人の神幸行列の先頭を行く神馬▶

5月3日、木山神宮で20年に一度の遷宮（遷座）御幸祭が行われ、地域をあげて祭りに酔いました。

同神宮は1585年、木山城、赤井城とともに焼き打ちにあい、約1600年ごろに再建。祭りは、再建を祝い住民が始めたとされ、戦後いったん途絶えましたが、1990年に復活しました。

神事の後、神馬やみこし、華やかに着飾った稚児など総勢約400人の神幸行列が、赤井地区の日枝神社を目指し出発。到着後、神事と神楽を奉納し再び木山神宮まで練り歩きました。

本人とは分からぬほどの厚化粧をした40人の奴行列は、奴頭の田端義輝さん（福富）を先頭に、「トウセイ、トウセイ、マッカショサー、ハイワイサー」と口上を述べながら、片足立ちでポーズをとるように行進。見物客からは盛んな拍手が送られていました。

長寿100歳を表彰

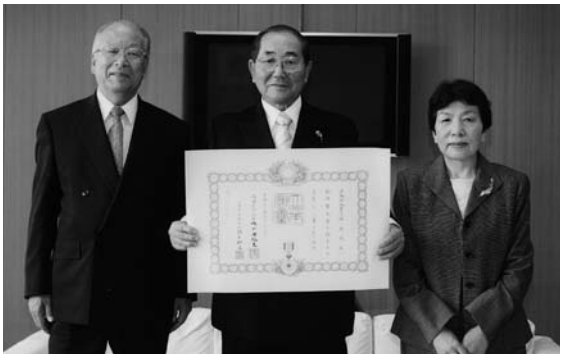
市ノ後の村上トキエさん

4月26日、めでたく100歳の誕生日を迎えた村上トキエさん（市ノ後）に住永町長から長寿を祝う町の敬老祝金と表彰状が贈られました。

村上さんは、明治43年4月26日生まれ。現在は自宅で長男夫婦の一司さん、まみ子さん、孫の達彦さん、智子さんと一緒に暮らしています。

時代劇や歌や踊りが好きで、賑わうのが大好きだという村上さん。町長やご家族、お祝いに駆けつけた益城在住の娘さん達と昔を懐かしみながら談笑し、「息子夫婦がほどよくしてくれる」と感謝の気持ちを表していました。

（後列右から）長男一司さん、次女照子さん、長女峯さんから祝福を受ける村上さん（前列左）



受賞の報告に訪れた福永さん（中央）と妻の君子さん（右）

長年の功績に旭日双光章

福富の福永成美さん

5月7日、春の叙勲伝達式が県庁で行われ、多年にわたり地方自治に功労した福永成美さん（福富、76）が、旭日双光章を受章しました。

福永さんは昭和50年から平成15年まで28年間、町議会議員として生活環境や教育環境の整備、産業の振興に尽力。平成11年からの4年間は町議会議長も務めました。

同日、住永町長に報告に訪れた福永さんは、「受章できたのは、長年支えていただいた地域の皆さまや同志のおかげです。今後、一層地域の発展のために努力していきたい」と話していました。